アクシス　壁・スリット工法　設計施工標準

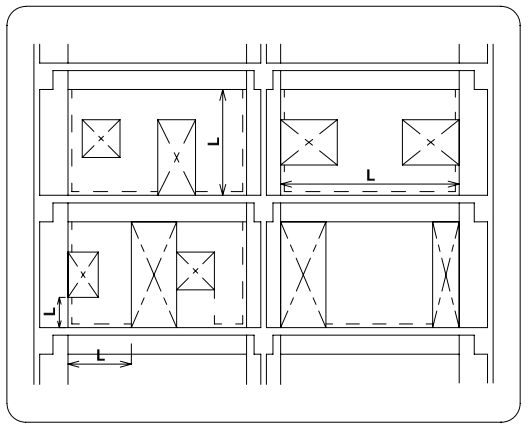
１．適用範囲・特記事項　　2010.6／ vol6

・本仕様書は、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造内、
　耐震スリット工事に適用する。
・本仕様書に特記無き事項は、設計図書、設計者及び係員の指示による。
　高位の耐火仕様については、設計図書、設計者及び係員の指示による。
　スリット材の施工については、設計者及び係員の承諾を得る事。

２．準拠する規基準

建築基準法・同施行令
2007年版建築物の構造関係技術基準解説書（日本建築センター）
鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説（日本建築学会）
建築物の遮音性能基準と設計指針（日本建築学会）
建築工事標準仕様書・同解説　JASS5　鉄筋コンクリート工事（日本建築学会）
建築工事標準仕様書・同解説　JASS8　防水工事（日本建築学会）
構造スリット設計指針（日本建築構造技術者協会）
構造スリット施工管理マニュアル（建設業協会）

３．共通設計仕様



・破線部分等に壁スリットを用いる場合に適用する。
　（各項目の□部分を■チェック、（ ）部分に仕様、数値を記入）
・スリットの位置は、設計図に明記。
　□ 伏 図　　□ 軸 組 図
・厚 み の 決 定
　□ 層 間 変 形 角 に よ り 決 定
　□ スリット必要長さ（Ｌ）の１／１００
　□ スリット必要長さ（Ｌ）の１／７５
　□ そ の 他 （　　）

４．検　　査

検 査 報 告：報告書作成　□要　□不要
　　写真添付　□要　□不要
検 査 方 法：□目視　□計測
検 査 箇 所 数：□全箇所　□任意抽出（総箇所数の（　　）％以上）
取付時検査項目：
　型 式 ：□完全スリット（□貫通型垂直　□水平　□せん断型）
　　□部分スリット
　形 状 ：□Ｗ（厚み）　□Ｄ（深さ）
　位 置 ：□使用部位　□取付状態
　仕 様 ：□耐火　□防水　□遮音
　配 筋 ：□要（目視）　□不要
打設後検査項目：
　施工状況：□位置　□曲り

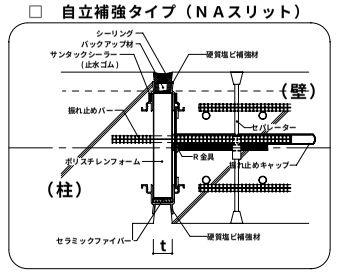
製造所連絡先
アクシス株式会社
〒166-0004　東京都杉並区阿佐谷南１－３３－１
　　第二東都ビル２Ｆ
TEL：03-5377-7781　　FAX：03-5377-7782
e-mail：slitmail@axis-slit.com
http//www.axis-slit.com
　　担当

アクシス株式会社

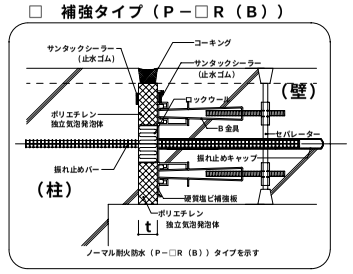
スリットの種類等

４．貫通型垂直　完全スリット

□ 自立補強タイプ（ＮＡスリット）



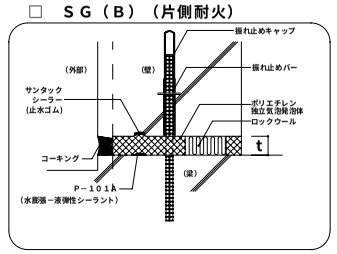
□ 補強タイプ（Ｐ－□Ｒ（Ｂ））



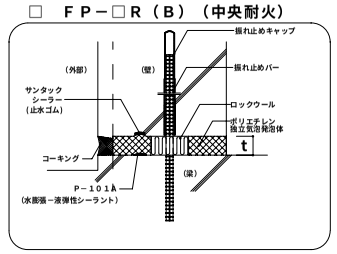
使 用 タ イ プ：□ＮＡスリット　□Ｐ－□Ｒ（Ｂ）スリット
ｔ（ＮＡスリット）：□２５　□３０　□３５　□４０　□５０
ｔ（Ｐスリット ）：□１５　□２０　□２５　□３０　□３５　□４０　□５０
耐火仕様（標準）　：□無し（耐火材無し）
防水仕様（標準）　：□無し（サンタックシーラー無し）
遮音仕様（標準）　：通常製品で遮音性能有り
　ＮＡ・ＳＧ（Ｂ）　壁厚１８０で　Ｄｒ５５
　ＮＡ・ＳＧ（Ｂ）　壁厚１５０で　Ｄｒ５０
振れ止めバー　：□Ｄ10 L-550（防錆収縮鉄筋）　□無し
　：□Ｄ13 L-550（防錆収縮鉄筋）　□無し
振れ止め鉄筋　径：□Ｄ10　□Ｄ13　□Ｄ16　□（Ｄ　　）□無し
　ピッチ：□@200　□@300　□@400　□@500　□（@　　）
耐火シール　：□要（製造所：　　）　□不要
そ の 他　：□

５．水平　完全スリット

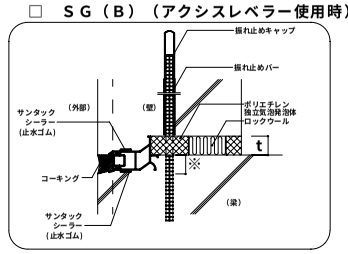
□ ＳＧ（Ｂ）（片側耐火）



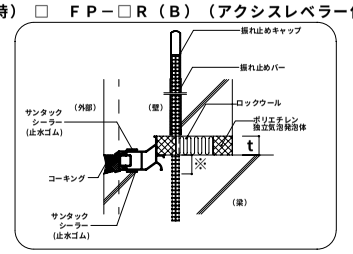
□ ＦＰ－□Ｒ（Ｂ）（中央耐火）



□ ＳＧ（Ｂ）（アクシスレベラー使用時）



□ ＦＰ－□Ｒ（Ｂ）（アクシスレベラー使用時）



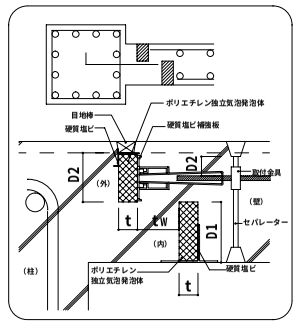
※梁の断面欠損及び、被りの検討を行うこと。

使 用 タ イ プ：□ＳＧ（Ｂ）スリット　□ＦＰ－□Ｒ（Ｂ）スリット
ｔ ：□１５　□２０　□２５　□３０　□３５　□４０　□（　　）
耐火仕様（標準）　：□無し（耐火材無し）
防水仕様（標準）　：□無し（サンタックシーラー、水膨張ー液弾性ｼｰﾗﾝﾄ無し）
遮音仕様（標準）　：通常製品で遮音性能有り
　ＮＡ・ＳＧ（Ｂ）　壁厚１８０で　Ｄｒ５５
　ＮＡ・ＳＧ（Ｂ）　壁厚１５０で　Ｄｒ５０
振れ止めバー　：□Ｄ10 L-550（防錆収縮鉄筋）　□無し
　：□Ｄ13 L-550（防錆収縮鉄筋）　□無し
振れ止め鉄筋　径：□Ｄ10　□Ｄ13　□Ｄ16　□（Ｄ　　）□無し
　ピッチ：□@200　□@300　□@400　□@500　□（@　　）
耐火シール　：□要（製造所：　　）　□不要
アクシスレベラー：□有り　□無し
そ の 他　：□火花等の安全管理対策の為、両側面と上部を
　アルミシート加工する。

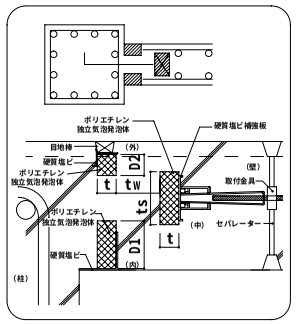
●垂直スリットが　ＮＡタイプ　の部分は、
　水平スリットに　ＳＧ（Ｂ）タイプ　を使用すること。
●垂直スリットが　Ｐ－□Ｒ（Ｂ）タイプ　の部分は、
　水平スリットに　ＦＰ－□Ｒ（Ｂ）タイプ　を使用すること。

６．せん断型　完全スリット

□ 一面せん断型スリット

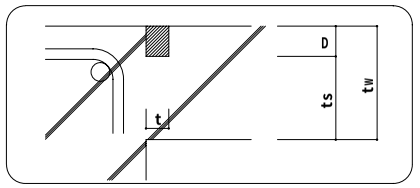


□ 二面せん断型スリット



t　：□１５　□２０　□２５　□３０　□３５　□４０　□（　）
Ｄ１：（　　）　Ｄ２：（　　）
ｔｓ：（　　）　ｔｗ：（　　）

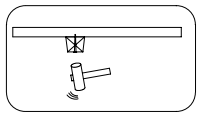
７．部分スリット



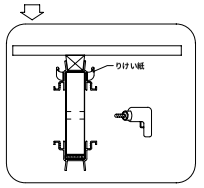
t　：□１５　□２０　□２５　□３０
Ｄ　：（　　）
ｔｓ≦ｔｗ／２　かつ　ｔｓ≦７．０ｃｍ　　０．５≦Ｗ／ｔｓ≦１．０

アクシス　壁・スリット工法　施工手順

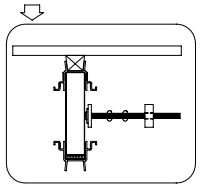
■ 垂直スリット　施工手順
■ ＮＡタイプ
（Ｒ金具の場合）



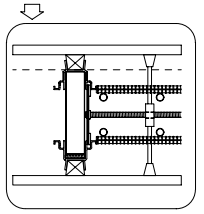
型枠に目地棒を打ち込み、スリットをセットするためのガイドとコーキングしろとします。
※目地棒は木製の 25×(25～30)×20 のテーパーを使用。長めの丸釘を使用し、必ず200ピッチ内で取り付けて下さい。
（目地棒は現場調達です。）



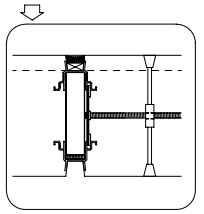
スリット本体を目地棒にあてがい、サンタックシーラーがついている場合はそのりけい紙をはがしてください。スリットに振れ止め筋が通る場合は、ドリルで芯材に穴を開けます。
※あらかじめご指示いただければ、工場にて穴あけ加工が可能です。（別途料金）



コンクリートの側圧補強と自立させるため、Ｒ金具（別途）を芯材の側面にあてがい、図のように曲げ、外部、内部の製品の溝部に差し込み固定します。

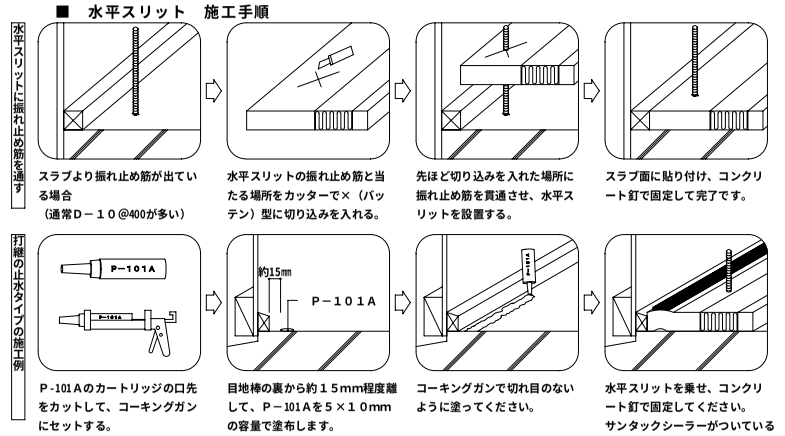


Ｒ金具をセパレーターに固定し、かえしの型枠に目地棒を固定し、型枠を締めて完了です。
※コンクリート打設の際には側圧を考え、片押しにならない様ご注意ください。

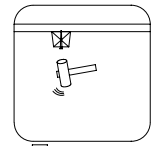


型枠脱却後、外部は必ずコーキングをしてください。

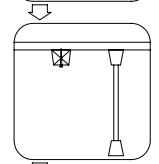
■ 水平スリット　施工手順



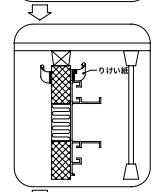
■ Ｐ－□Ｒ（Ｂ）タイプ
（Ｂ金具の場合）



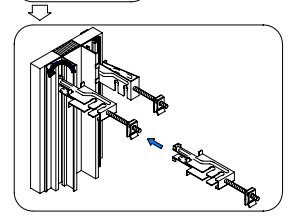
型枠にコーキングしろとして目地棒を打ち付けます。
※目地棒は長めの丸釘を使用し、必ず200ピッチ内で取り付けてください。
（目地棒は現場調達です。）



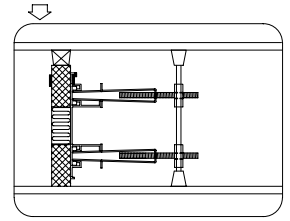
スリット芯から壁側にスリット固定用のセパレーターを引きます。
（スリットの目地幅と金具の種類によってセパレーターの位置が異なります。）



目地棒の後ろに垂直スリット本体をあてがいます。
サンタックシーラーがついている場合は、そのりけい紙をはがしてください。



金具を取付ます。土台部分をワンタッチで取り付けられます。
（押し込んでから９０°回します。）



スリット本体にはめ込んだ金具をセパレーターに固定し、返しの型枠を締めて完了です。
※コンクリート打設の際には側圧を考え、片押しにならない様ご注意ください。

型枠脱却後、外部は必ずコーキングをしてください。